

## 平成 22 年度 第 1 回杉並区障害者福祉推進協議会 次第

- 1 保健福祉部長開会・挨拶
- 2 新任委員委嘱
- 3 会長挨拶
- 4 委員、幹事自己紹介（資料 1）
- 5 報告
  - (1) 平成 22 年度障害者福祉関連施策の進捗状況について
    - ・重度知的障害者グループホームについて（資料 2）
    - ・杉並区障害者ガイドヘルパー講座について（資料 3）
  - (2) 22 年度杉並区地域自立支援協議会等の取り組みについて（資料 4）
  - (3) その他
- 6 議題  
平成 22 年度杉並区障害者基礎調査について（資料 5）
- 7 その他 次回日程について
  - ・10 月中旬予定
- 8 閉会

### 【配布資料】

- 資料 1 平成 22 年度杉並区障害者福祉推進協議会委員・幹事名簿
- 資料 2 松庵二丁目区有地における重度知的障害者グループホームについて
- 資料 3 杉並区障害者ガイドヘルパー講座の実施結果について
- 資料 4 22 年度杉並区障害者地域自立支援協議会等の取り組みについて
- 資料 5 平成 22 年度杉並区障害者基礎調査概要（案）

### 【参考資料】

- おしごとフェアちらし
- 杉並区障害者相談支援事業所リーフレット（当日配布）

## 資料1

## 平成22年度 杉並区障害者福祉推進協議会委員・幹事名簿

平成22年8月30日 現在

No.	委員氏名	団体名等	備考
1	助川 征雄	聖学院大学	学識経験者
2	伊東 秀幸	田園調布学園大学	
3	山田 志保子	杉並区社会福祉協議会	社会福祉団体の代表
4	笠原 克信	杉並区民生委員児童委員協議会	
5	斎藤 敬子	杉並区商店会連合会	地域団体の代表
6	西川 道雄	杉並区町会連合会	
7	高橋 博	杉並区障害者団体連合会	障害者団体の代表
8	丸山 千鶴	杉並区知的障害者育成会	
9	山本 裕子	杉並家族会	
10	西山 春子	杉並区視覚障害者福祉協会	
11	鈴木 道夫	杉並区聴覚障害者協会	
12	杉原 千鶴子	杉並区肢体不自由児者父母の会	
13	窪田 茂比古	杉並区医師会	保健・医療関係者
14	小川 一夫	東京都立中部総合精神保健福祉センター	
15	松浦 隆太郎	杉並区立済美養護学校	教育関係者
16	小林 進	東京都立永福学園	
17	小宮山 元	新宿公共職業安定所	就労関係者
18	土屋 義雄	杉並区障害者雇用支援事業団	
19	佐藤 弘美	杉並障害者自立生活支援センターすだち	相談支援及びサービス事業者の代表
20	日高 賢	杉並区居宅・外出介護事業者協議会	
21	高橋 利明	杉並区成年後見センター	権利擁護関係者
22	木全 玲子	東京都杉並児童相談所	関係行政機関
23	間彦 滋夫	警視庁杉並警察署	

No.	幹事氏名	役職
1	遠藤 雅晴	保健福祉部長
2	井山 利秋	保健福祉部管理課長
3	和久井 伸男	保健福祉部障害者施策課長
4	末久 秀子	保健福祉部障害者生活支援課長
5	森山 光雄	保健福祉部杉並福祉事務所高井戸事務所担当課長
6	和久井 義久	保健福祉部高齢者施策課長
7	河合 江美	杉並保健所保健予防課長
8	後藤 行雄	保健福祉部児童青少年課長

## 松庵二丁目区有地における重度知的障害者グループホームについて

松庵二丁目区有地における重度知的障害者グループホームについて、整備・運営する事業者を公募型プロポーサル方式により公募、整備・運営法人選定委員会（以下「選定委員会」という。）において選定し、現在整備を進めています。

### 1 選定事業者

- (1) 事業者名 社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
- (2) 代表者 理事長 加藤 智恵子
- (3) 所在地 東京都新宿区西新宿8-3-39 STSビル3階
- (4) 主な事業 施設入所支援事業、短期入所事業、自立訓練事業、生活介護事業、就労移行支援事業を「杉並育成園すだちの里すぎなみ」にて実施。共同生活介護事業を区内8か所で実施。

### 2 事業内容

- (1) 開設場所 杉並区松庵二丁目22番
- (2) 整備施設 障害者自立支援法5条に規定する共同生活介護事業
- (3) 定員 12名（2ユニット）
- (4) 開設時期 平成23年度末（予定）

### 3 選定経過

- 平成22年3月19日 公募説明会開催、公募開始
- 4月21日 公募締切
- 5月26日 審査、事業者決定

### 4 選定方法

学識経験者、区内障害者団体代表、区民代表及び区関係職員からなる選定委員会において審査（書類審査及びヒアリング）を実施した結果、上記事業者を選定した。

## 杉並区障害者ガイドヘルパー講座の実施結果について

区委託事業である障害者移動支援事業におけるガイドヘルパー不足に対応するため、すぎなみ地域大学において、「障害者ガイドヘルパー講座」を開催しました。講座修了者には区独自の資格を付与し、移動支援委託事業所への就労につなげるための人材確保を図りました。

- 1 日 時：平成22年6月  
12日（土）、13日（日）、19日（土）の3日間
- 2 会 場：杉並区役所分庁舎ほか
- 3 受講者数：視覚障害者コース 10名  
知的障害者コース 18名  
全身性障害者コース 6名 計34名
- 4 実施主体：杉並区居宅・外出介護事業者協議会に委託して実施
- 5 講座概要：（3コース共通の講義）  
「障害者（児）福祉の制度とサービス」  
「ホームヘルプサービス概論」等  
（コースごとの講義及び演習）  
「移動支援の基礎知識」  
「屋外の移動支援」等  
（事業者との交流会）

## 22年度杉並区障害者地域自立支援協議会等の取り組みについて

### 1 第1回地域自立支援協議会〔6月15日(火)実施〕

#### (1) 地域の課題について

テーマ「障害者サービスと連携について」(継続テーマ)

<討議と次回の予定>

今回は、相談支援から上がってくる課題を地域の課題として捉え、解決や改善に向けた方向性を持たせる場であることを再確認した。そのうえで、「初期相談への対応」「情報の共有」「継続性の確保」のキーワードを切り口に意見交換を行った。

次回は、障害のある学齢期の支援について、不足しているもの、連携する機関、情報や支援内容を共有するための取り組みなどについて話し合う予定である。

#### (2) 報告

重度グループホームの整備、ガイドヘルパー養成講座、区委託の相談支援事業所の整備、発達障害者の社会適応支援事業など区の取り組みや雇用支援ネットワーク、グループホーム世話人情報交流会などの地域のネットワーク情報を伝えた。

#### (3) 次回の日程 11月を予定

### 2 相談支援部会〔4月8日(木)実施〕

テーマ別ワーキングに分かれて実施

- ① テーマ「学齢期の家庭支援」：教育機関3箇所を見学し、支援課題について討議中
- ② テーマ「GHへの支援」：世話人幹事会と連携し、GH見学会を計画中
- ③ テーマ「ケア24との交流」：ケア24幹事会と連携し、意見交流会を計画中

### 3 地域移行促進部会〔6月10日(木)実施〕

- (1) 本人の健康状態や身体状況を適切に伝達ための「わたしの健康ノート」を作成し、30名の障害者が試行中(12月まで)
- (2) 昨年実施した「障害がある方の地域医療についてのアンケート」の報告と日常的にかかれる医療機関についての家族と支援者の意見交換会を計画中

### 4 相談支援の動き

◎ 7ヶ所目の区委託相談支援事業所を開設(7月～)

- ・事業所名：相談支援事業所リリーフ
- ・法人名：医療法人社団野崎クリニック

### 5 就労支援等の動き

- ◎ すぎなみワークチャレンジ事業 精神障害者1名を雇用 (合計：知的2名、精神1名)
- ◎ ステップアップ雇用 週20時間未満雇用を実施する企業への助成事業を予定(9月～)
- ◎ すぎなみ仕事ねっと サマーフェスタ 平成22年8月6日(金)に実施 17施設が参加

以上

## 平成22年度杉並区障害者基礎調査概要（案）

### 1 調査目的

障害者計画・障害福祉計画の改定及び障害者施策をより効果的に実施するため、障害者の生活実態やサービスの利用意向等を把握する調査を行う。

### 2 調査内容

#### (1) 調査対象 約5,000人

調査の対象は、下表のとおり各障害区分の障害内容等と年齢階層に応じた対象者総数から無作為に抽出する。

年齢階層⇒ア. 18歳未満 イ. 18歳以上40歳未満 ウ. 40歳以上65歳未満  
エ. 65歳以上

(調査対象者の内訳)

障害区分	障害内容等	総数	抽出数
①身体障害者	身体障害者手帳所持者	11,850	2,750
	肢体不自由	6,010	1,200
	内部障害	3,813	750
	視覚障害	935	350
	聴覚、平衡機能、音声・言語機能 又はそしゃく機能の障害	1,092	450
②知的障害者	愛の手帳の所持者	1,688	1,025
③重症心身障害者	(身体障害者手帳との重複所持者)	129	125
④精神障害者	精神障害者保健福祉手帳の所持者	1,871	800
⑤発達障害児	(特別支援学級、家族会やシンポジウム等で調査協力者に依頼する)	—	150
⑥高次脳機能障害者		—	150
合計		—	5,000

※総数は、①～③は平成22年7月29日現在の数値。

④は、平成22年3月31日現在の数値

※発達障害児及び高次脳機能障害者の対象数は、配付予定数を示す。

#### (2) 調査項目

裏面「平成22年度障害者基礎調査 調査項目（案）」参照

#### (3) 実施スケジュール（予定）

平成22年10月中旬 調査項目及び調査票の確定

11月上旬 障害者基礎調査業務委託契約締結、調査対象の抽出

12月上旬 調査票発送

12月中旬 調査票回収

平成23年3月中旬頃 「平成22年度障害者基礎調査報告書」納品

## 障害者基礎調査 調査項目

### 平成22年度調査項目(案)

全 年 齢	<b>基本項目</b>	
	年齢	
	性別	
	同居人	
	手帳の所持、障害等級	
	障害の種類	
	発症時期	
	障害原因	
	家計を主に支えている人	
	本人の収入の種類	
	本人の収入額	
	<b>住まい</b>	
	現在の住まいの状況	
	住まいについて困っていること	
	今後の住まいの意向	
	<b>医療・通院先への移動</b>	
	安心して受診できる医療機関(かかりつけ医)の有無	
	定期的な通院の有無	
	通院先への移動方法	
	通院先への移動に要する金額	
地域医療について充実して欲しい施策		
<b>利用意向</b>		
現在利用しているサービス		
今後の利用意向		
<b>情報の取得</b>		
福祉サービス情報の取得方法		
インターネットの活用		
コミュニケーション方法(点字・手話)		
<b>相談</b>		
日常生活や福祉サービスに関する相談者の有無		
困った時の相談機関		
<b>災害</b>		
地域のたすけあいネットワークを知っているか		

1 8 歳 未 満	<b>所属</b>	
	日中活動状況(就学以後の方のみ)	
	習い事	
	この調査への回答者	
	充実して欲しい施策	
	自由筆記(今後の杉並区に望むこと)	

1 8 歳 以 上	<b>交流・話し相手</b>	
	当事者活動への参加	
	気軽に話しができる人(話し相手)の有無	
	話し相手は誰か	
	<b>差別</b>	
	偏見を持たれたこと、嫌なおもいをしたことの有無	
	<b>就労・仕事</b>	
	収入のある仕事(作業所含む)をしているか	
	主な就労の場	
	障害のオープン	
	職場(作業所)の場所	
	仕事の満足度	
	仕事・職場に求めること	
	勤め先の探し方	
	就労生活を続けていくために重要なこと	
一般就労希望の有無(作業所利用者のみ)		
一般就労をするために必要なこと(作業所利用者のみ)		
日中活動状況(仕事をしていない人に対して)		
今後の意向		
<b>その他</b>		
この調査への回答者		
充実して欲しい施策		
自由筆記(今後の杉並区に望むこと)		

### 平成20年度調査項目

全 年 齢	<b>基本項目</b>	
	年齢	
	性別	
	同居人	
	障害等級	
	障害の種類	
	発症時期	
	手帳の所持	
	障害原因	
	<b>医療・保健</b>	
	訓練・療育(歴)	
	診断歴(専門医の状況)	
	入院歴	
	安心して受診できる医療機関(かかりつけ医)の有無	
	服薬管理	
	疾病予防	
	<b>利用意向</b>	
	福祉用具使用の有無	
	現在利用しているサービス	
	今後の利用意向	
利用したいサービス		
<b>情報の取得</b>		
パソコンの操作		
インターネットの活用		
福祉サービス情報の取得方法		
の～まらいふ杉並の利用・普及		
<b>相談</b>		
相談者がいるか		
相談先		
<b>災害</b>		
災害時対応		
<b>普及啓発</b>		
週間事業の参加有無		
コミュニケーション方法(点字・手話)		

1 8 歳 未 満	<b>所属</b>	
	日中活動状況(就学以後)	
	習い事	
	この調査への回答者	
	自由筆記(区に望むこと)	

1 8 歳 以 上	<b>交流・話し相手</b>	
	当事者活動への参加	
	気軽に話しができる人(話し相手)の有無	
	話し相手は誰か	
	<b>差別</b>	
	差別	
	<b>就労・仕事</b>	
	仕事の状況	
	仕事の種類(仕事をしている人のみ)	
	障害のオープン	
	仕事の場所(仕事をしている人のみ)	
	仕事の満足度	
	仕事・職場に求めること	
	日中活動状況(仕事をしていない人に対して)	
	今後の意向	
仕事をする場合の仕事・職場に求めること		
<b>将来の備え等</b>		
今後の備え		
成年後見活用		
家計を主に支えている人		
この調査への回答者		
自由筆記(区に望むこと)		

## 会 議 記 録 (要旨)

会 議 名 称	平成 22 年度 第 1 回杉並区障害者福祉推進協議会	
日 時	平成 22 年 8 月 30 日 (月) 午後 2 時から 3 時 30 分	
場 所	第 3・4 委員会室	
名 簿	委 員	(敬称略) 助川・伊東・山田・笠原・斎藤・高橋 (博)・丸山・山本・西山・鈴木・杉原・松浦・小宮山・土屋・佐藤・間彦 (欠席) 西川・窪田・小川・小林・日高・高橋 (利)・木全
	幹 事	遠藤保健福祉部長・井山保健福祉管理課長・和久井障害者施策課長・末久障害者生活支援課長・森山福祉事務所高井戸事務所担当課長・和久井高齢者施策課長・後藤児童青少年課長 (欠席) 河合保健予防課長
	事務局	障害者施策課 (井上・阿部・福原・本舘) 障害者生活支援課 (平沢・鈴木) 保健予防課 (櫻井)
配布資料	<b>【配布資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料 1 平成 22 年度杉並区障害者福祉推進協議会委員・幹事名簿</li> <li>○ 資料 2 松庵二丁目区有地における重度知的障害者グループホームについて</li> <li>○ 資料 3 杉並区障害者ガイドヘルパー講座の実施結果について</li> <li>○ 資料 4 22 年度杉並区障害者地域自立支援協議会等の取り組みについて</li> <li>○ 資料 5 平成 22 年度杉並区障害者基礎調査概要 (案)</li> </ul>	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健福祉部長開会・挨拶</li> <li>2 新任委員委嘱</li> <li>3 会長挨拶</li> <li>4 委員、幹事自己紹介 (資料 1)</li> <li>5 報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 22 年度障害者福祉関連施策の進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>・重度知的障害者グループホームについて (資料 2)</li> <li>・杉並区障害者ガイドヘルパー講座について (資料 3)</li> </ul> </li> <li>(2) 22 年度杉並区地域自立支援協議会等の取り組みについて (資料 4)</li> <li>(3) その他</li> </ul> </li> <li>6 議題 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年度杉並区障害者基礎調査について (資料 5)</li> </ul> </li> <li>7 その他 次回日程について</li> <li>8 閉会</li> </ol>	
会議の要旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健福祉部長開会・挨拶</li> <li>2 新任委員委嘱 (丸山委員・小宮山委員・高橋 (利) 委員)</li> <li>3 会長挨拶</li> <li>4 委員、幹事自己紹介 (資料 1)</li> <li>5 報告</li> </ol>	



- (1) 平成22年度障害者福祉関連施策の進捗状況について
  - ・重度知的障害者グループホームについて（資料2）
  - ・杉並区障害者ガイドヘルパー講座について（資料3）
- (2) 22年度杉並区地域自立支援協議会等の取り組みについて（資料4）
- (3) その他
  - ・「福祉のおしごとフェア」について
  - ・杉並区社会福祉協議会の業務案内
- (4) 質疑応答
  - ・ガイドヘルパー養成講座を開催できたことは感謝する。しかし、修了者の登録率が少ないことは残念。資格を付与するので、一定の受講料を課して動機付けを高め、講座実施者はフォローできる体制で取り組んでほしい。
  - ・グループホーム建設に、区有地が活用されたのはありがたい。今後身体障害者の多くが高齢化し障害が重度化する中で、今後さらに区有地活用に取り組んだ施策を行ってほしい。
  - ・障害児の放課後、休日支援は、他区よりも充実していると思うが、実情からはまだ不足。地域デイサービスは運営基盤がまだまだ弱いので、自立支援法に移行するにも区のバックアップがさらに必要かと思う。
  - ・今後の支援に役立てるため、教育分野も地域での障害福祉サービスについて学ぶ機会を持った。
  - ・閉じこもり予防として、移動支援を活用できとても有効だった。今後とも必要性に応じ、弾力的な判断をしてほしい。

⇒課題として受け止め、次年度以降の参考としたい。

## 6 議題

- (1) 平成22年度杉並区障害者基礎調査について（資料5）
  - ・調査項目については、「収入」「住まい」「今後10年間の杉並に望むこと」といった区の基本構想にも関係するものを増やしている。
- (2) 意見交換
  - ・スケジュール的に発送から回収まで短いため、期間の再考をしてほしい。
  - ・区内在宅者を対象としているが、施設入所者も対象に入れてほしい。
  - ・18年度と比べて、項目内容の追加、削除があるが、経年的に見る必要性がないか再考してほしい。
  - ・精神障害者にとっては、医療は重要なポイントなので、病態の悪化防止または、疾病予防の視点は落さないでほしい。

## 7 その他

- ・高円寺駅南口ロータリーの障害者専用乗降場の設置について
  - ・新区長体制下の杉並区基本構想策定過程に障害者の声もとり入れてほしい。
- ⇒第3回定例議会で今後の方向性が示されるので確認していただきたい。

※次回日程 10月21日（木）午後予定

## 8 閉会